


④ 中濃地域			
<p>■ 該当市町村</p> <p>関市、美濃市</p>		<p>■ 区域</p> 	
<p>■ 景観上の特性</p>			
地形・自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部の県境には美濃越前山地がそびえ、南部の市街地の背景となる山並みが広がる。</li> <li>・ 地域のほとんどが山地であり、北部には原生林がみられる。</li> <li>・ 中央部には、平坦な丘陵部が広がる。</li> <li>・ 中央部には、南北に長良川が流れている。</li> </ul>	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丘陵部では、住宅、工業地等の開発が進められている。</li> <li>・ 南部には、和紙や刃物の日本有数の伝統的な地場産業の産地が位置する。</li> <li>・ 南部の平地部には、南北に東海北陸自動車道、国道 156 号、東西に国道 248 号、418 号等が通り、これらに沿って市街地が形成されている。</li> </ul>
軸線	<p>地域の骨格を形成する軸線として、次のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川：長良川、板取川、津保川、武儀川</li> <li>・ 道路：東海北陸自動車道、東海環状自動車道、国道 156 号、248 号、256 号、418 号</li> <li>・ 鉄道：長良川鉄道</li> </ul>		

■ 景観構造図

中濃地域



凡例

- |       |         |                 |                    |
|-------|---------|-----------------|--------------------|
| 山間エリア | 谷・盆地エリア | 河川              | 河川景観               |
| 鉄道    | 高速道路    | 国道              | 山                  |
| 山並み   | 自然公園    | 田園、群生地等、大規模開発地等 | 歴史・伝統文化的要素、その他の拠点等 |

■景観形成方針

①長良川等の水と緑の美しい河川景観の保全

- ・長良川は小瀬鶺鴒の舞台であるとともに、また自然公園に指定され豊かな自然環境が保全されている河川であり、その支流である板取川、武儀川等の地域を流れる河川とともに河川沿いの自然環境と調和した美しい河川景観を形成している。
- ・これらの河川の水と緑の美しい河川景観を保全していくことが必要である。

長良川



②丘陵部の開発における自然景観の保全

- ・地域の南部の丘陵部ではのぞみヶ丘等の住宅地や工業団地等の開発が進んでいる。
- ・これらの丘陵部における土地利用に当たっては、自然景観の保全を図ることが必要である。

丘陵部



③地場産業を活かした市街地・集落地景観の形成

- ・我が国有数の和紙（美濃市）や刃物（関市）の産地であり、地区では製造過程の様子が見られ、作業所や販売店等の地場産業に関連した建築物など地場産業を活かした景観が見られる。
- ・これら伝統的な地場産業を市街地・集落地景観の形成に活かしていくことが必要である。

蔵生地区



④歴史的資源を活かした市街地や集落地景観の形成

- ・重要伝統的建造物群保存地区を含む美濃市のうだつのあがるまち並みを始め、関の善光寺等の木立に囲まれた由緒ある寺社、仏閣等も多数存在している。
- ・これら歴史的資源を保全するとともに、市街地や集落地の景観づくりに活かしていく必要がある。

うだつのあがるまち並み



⑤市街地における緑豊かな自然景観の形成

- ・美濃や関の市街地は周囲を瓢ヶ岳等の山々に囲まれており、遠景として生活の中に自然を感じることができる。
- ・また、市街地にある緑地や市街地に隣接する小倉山、安桜山や大矢田もみじ谷等は、市街地における近景の緑である。
- ・市街地の背景となる山々の森林と、市街地に隣接する緑地を、保全することにより、市街地における緑豊かな自然景観の形成を図る必要がある。

大矢田もみじ谷



⑥里山の景観の保全

- ・人々の暮らしと自然が密接な関係を保ってきた里山は、開発や生活の変化によって少なくなっている。
- ・百年公園周辺や板取川沿いの和紙の里周辺等に残されている人と自然が気軽に触れ合うことができる里山の景観の保全を図る必要がある。

百年公園




⑦市街地周辺に広がる田園景観の保全

- ・関市役所周辺や長良川周辺の市街地郊外における田園地帯は、生活の中の身近な自然としての優良な農地とゆとりある住宅が共存する田園景観を形成している
- ・これらの市街地周辺に広がる田園景観の保全を図ることが必要である。

関市役所周辺の田園



⑤ 郡上地域			
<p>■ 該当市町村</p> <p>郡上市</p>		<p>■ 区域</p> 	
<p>■ 景観上の特性</p>			
地形・自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部山間部に、分水嶺が東西に延びる。</li> <li>・ 北部の高原には、ミズバショウ等の貴重な植生も見られる。</li> <li>・ 長良川沿いに比較的平坦な丘陵部が広がり、各地で美しい溪谷が見られる。また、その両側には、山間部が広がる。</li> </ul>	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部には、年間を通じたリゾート地が形成されている。</li> <li>・ 山間部には、豊かな自然と融合した集落地が形成されている。</li> <li>・ 中央部の集落地には、古いまち並み、石畳、湧水、郡上おどり等の歴史・文化的資源が残されている。</li> <li>・ 中央部を南北に東海北陸自動車道、長良川鉄道、国道 156 号が通り、これらに沿って市街地や集落が形成されている。</li> </ul>
軸線	<p>地域の骨格を形成する軸線として、次のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川：長良川、吉田川</li> <li>・ 道路：東海北陸自動車道、国道 156 号、158 号、256 号、472 号</li> <li>・ 鉄道：長良川鉄道</li> </ul>		